

次の部首名を書きましよう。

年

組

番

名前

〔へん〕

言 (話、語)

糸 (緑、絵)

〔つくり〕

文 (教、数)

可 (利、別)

〔かんむり〕

竹 (筆、箱)

艹 (葉、薬)

〔にょう〕

辶 (通、連)

教材3-1A(2) 言葉の知識

年

組

番 名前

次の  に入るふさわしい言葉を書き、慣用句を完成させましょう。

〔動物に関する慣用句〕

・

のひたい

〔意味〕たいへんせまい場所。

・ とらぬ

の皮算用

〔意味〕まだ手に入らぬうちからそれをあてにして、あれこれと計画を立てること。

〔体の部分に関する慣用句〕

・

を長くする

〔意味〕期待してまちこがれること。

・

が売れる

〔意味〕有名になること。

教材 3-A (3)

言葉の知識 ちしき

年

組

番

名前

○次の

には体の部分かんようくに関係する同じ言葉が入ります。ふさわしい言葉を書き、慣用句を完成させましょう。

意味は、辞書を使って調べてみましょう。

を貸す か

が高い

をつっこむ

(1)

を打つ

(2)

を折る

(3)

がつながる

を焼く

にかける

をかしげる

○次の

には同じ言葉が入ります。ふさわしい言葉を書き、慣用句を完成させましょう。

意味は、辞書を使って調べてみましょう。

に流す

よりだんご

の手も借りたい

(1)

いらず

(2)

をもたせる

(3)

にこばん

を得た魚のよう

をそえる

をかぶる

教材 3-A (4)

言葉の知識

年

組

番

名前

○次の

には同じ漢数字が入ります。ふさわしい漢数字を書き、ことわざを完成させましょう。

意味は、辞書を使って調べてみましょう。

(1) 石の上にも

年

早起きは

文の得

(2) なくて

くせ

転び八起き

(3)

足のわらじをはく

階から目薬

(4) つるは千年かめは

年

事休す

(5) 五十歩

歩

聞は一見にしかず

教材 3-A (5)

言葉の知識

○上の□に書かれた漢字の「部首」と、  
も考えて  に二つ以上書きましょう。

の部首名を線でつなぎましょう。

また、その部首の入った漢字を他に

年

組

番 名前

話

港

秋

晴

住

板

絵

にんべん

ごんべん

さんずい

いとへん

ひへん

のぎへん

きへん

年

組

番

名前

○上の□に書かれた漢字の「部首」と、  
も考えて  の部首名を線でつなぎましょう。また、その部首の入った漢字を他に  
に二つ以上書き出しましょう。

花  
・

門  
・

国  
・

顔  
・

道  
・

雲  
・

・  
おおがい

・  
しんによう

・  
くさかんむり

・  
あめかんむり

・  
くにがまえ

・  
もんがまえ

年

組

番

名前

○次の文章に合う、様子を表す言葉を選んで書きましょう。

- ① 星が (きらきら・ぎらぎら) かがやいている。
- ② 遊びのさそいを (きっかり・きっぱり) ことわった。
- ③ 見つからないように、(ぞろぞろ・そろそろ) 歩く。
- ④ (すっかり・すっきり) 夏らしくなった。
- ⑤ パンが (ふっくら・ふらふら) と、やきあがった。
- ⑥ (じっと・ざっと) 計算して、およその数を出す。
- ⑦ 何も食べていないので、おなかが (ぺらぺら・ぺこぺこ) だ。
- ⑧ 友だちと (はっきり・ばったり) 出会った。
- ⑨ 遠くの山が (のんびり・ぼんやり) 見える。
- ⑩ つい (うっかり・がっかり) して、まちがえてしまった。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--